



第34回 上尾市街づくり推進会議

会 議 録

日 時 令和6年6月27日（木） 午後2時00分から
場 所 上尾市役所 議会棟4階 全員協議会室

<p>1 開会挨拶</p>	<p>○第34回上尾市街づくり推進会議 (司会進行 都市計画課 甲谷副主幹)</p>
<p>甲谷副主幹</p>	<p>まずは、本日の出席者数についてご報告いたします。</p> <p>上尾市街づくり推進条例施行規則第2条第5項では、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない」と規定されております。</p> <p>本日の会議には、全委員数14名のうち委員数12名の出席をいただいておりますので、会議の開催要件を満たしておりますことをご報告いたします。</p> <p>それではここで、深堀会長より開会のご挨拶を賜りたいと存じます。深堀会長よりお願いいたします。</p>
<p>深堀会長</p>	<p>《深堀会長 開会挨拶》</p>
<p>2 議 事</p> <p>甲谷副主幹</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第2の「議事」でございます。議事に先立ちまして本日の資料の確認を行います。</p> <p>1点目、「第34回上尾市街づくり推進会議 次第」</p> <p>2点目、「上尾市街づくり推進会議 委員名簿」</p> <p>3点目、「第34回上尾市街づくり推進会議 座席表」</p> <p>4点目、資料1 前回会議における計画の評価に関するご意見と対応</p> <p>5点目、資料2 新旧対照表</p> <p>6点目、資料3 上尾市自転車のまちづくり基本計画の評価報告書(案)</p> <p>7点目、資料4 前回会議における今後の自転車施策に関するご意見</p>

<p>深堀会長</p>	<p>以上 7 点でございます。</p> <p>資料が不足している方は、事務局までお申し付けください。</p> <p>それでは、本日の議事に入りたいと思いますが、上尾市街づくり推進条例施行規則第 2 条第 4 項の規定により「会長が議長となること」となっておりますので、これ以降の議事進行を深堀会長にお願いいたします。</p> <p>それでは、深堀会長よろしくをお願いいたします。</p> <p>承知いたしました。しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、本会議の会議録署名人につきまして、私の方から選任させていただきます。</p> <p>1 号委員 三浦委員と 2 号委員 中嶋委員にお願いいたします。</p> <p>次に書記でございますが、事務局の只野主任にお願いいたします。</p> <p>なお、本会議は原則公開でご審議いただくことになっておりますので、ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>それでは、本日の案件で非公開事項に該当するものがあるかどうか、事務局にお伺いします。</p>
<p>中釜課長</p>	<p>本日の案件の中には、非公開事項に該当する議案はございません。</p>
<p>深堀会長</p>	<p>ただ今事務局から、「非公開事項に該当する案件はない」ということで報告がありましたが、そのとおりとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>『異議なし』</p>

深堀会長	<p>それでは、本日は非公開とする案件はなしということで進めさせていただきます。</p> <p>続いて、事務局に確認いたします。本日、傍聴を希望する方はいらっしゃいますか。</p>
中釜課長	<p>傍聴者が1名いらっしゃいます。</p>
深堀会長	<p>それでは、ただ今から傍聴者に入場していただきます。事務局の方、傍聴者を入場させてください。</p> <p style="text-align: center;">《傍 聴 者 入 場》</p>
深堀会長	<p>議事に入ります前に、傍聴者に傍聴上の注意を申し上げます。</p> <p>先ほど事務局よりお配りいたしました「傍聴要領」をよく読み、遵守してください。また、「傍聴要領」に反する行為をした場合は、退場していただきます。</p>
深堀会長	<p>それでは、議事「上尾市自転車のまちづくり基本計画の評価」について、担当課より説明をお願いします。</p>
都市計画課 大山主査	<p>《上尾市自転車のまちづくり基本計画の評価について》</p> <p>「資料1」、「資料2」、「資料3」、「資料4」を用いて説明</p>
深堀会長	<p>ありがとうございました。資料3報告書中の核心の部分で前回の会議で出た意見が反映された評価がされており、3ページにわたってボリュームのある記載がなされた点が大きな成果であると思います。資料4についても、ホームページへ議論した成果をご公表いただけると</p>

<p>小嶋委員</p>	<p>のことですので、議論がきちんと共有されるということだと思います。</p> <p>それでは、今のご説明につきまして、ご質問等をお受けしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>行政経営の観点が必要であろうという意味合いで確認しておきたいです。</p> <p>まずは、資料２の４ページについて、一般的にビジョンあるいはミッションと言う場合、ビジョンは平成２５年に設定されたもの、将来あるべき姿ということで自治体が設定したもので、それを達成するために平成２５年の段階でミッションがあったはずで、それからビジョンを達成するために、各年事業計画が設定され実行されてきたと考えます。そう考えた時に、１２ページ「目標・ビジョンの評価」が毎年施策として実行されてきた中身であると位置付けると思っていて、その内容に基づいてビジョンがどういう状況であったかという評価がされたという理解でよろしいでしょうか。</p>
<p>大山主査</p>	<p>考え方としては、そのとおりとなります。一方で「上尾市自転車のまちづくり基本計画」としましては、計画の中で詳細な各年度の事業別実施計画までの記載はなく、何年度にどのようなことを実施してきたかということにつきましては、実績として、評価報告書の中でお示しをしております。</p> <p>事務局である都市計画課としましては、事業別に施策の取り組み状況を確認して、計画に位置付けた目標・ビジョンの達成に向けてどのように反映されているかということを、今回報告書中にまとめております。</p>

小嶋委員	<p>大事なことは、設定したビジョンの達成状況がどうだったかということが評価され、市民に理解されるべきということです。</p> <p>今後の施策を設定するときに、そのビジョンの何が問題だったか、さらにそれを強化するかといった、行政経営のシナリオとして押さえておかないといけないと思います。ストーリー的な考え方を持ったうえで、成果は成果として理解してもらう必要があります。将来の方向性はこういう考え方であり、三つのビジョンを掲げこれだけの成果が得られ、将来はこういう方向に向かう、というものを市民に提案していくべきだと思います。そのうえで、施策を考えていく、あるいは今後のアクションプランを作成していくということが重要だと思います。</p>
深堀会長	<p>個別の事業の状況を紹介するよりも、今回の評価では総括という形でまとめられており、それを含めて32ページに今後の方向性を概ね方向付けています。基本計画的なものは検討していくという話もあり、課題になっているので、いろんな部署で引き継いでいくということをご説明いただいたと思っています。</p> <p>何か事務局からございますか。</p>
大山主査	<p>各施策の取り組みとしましては、資料3の評価報告書中の7ページ以降に、各目標・ビジョンに従って、事業の取り組みの詳細を記載しております。</p> <p>これらの事業は、進めていく中で当然課題もあり、一定程度効果を確認できた施策もありました。その中で、予算措置といった面も含め、きちんとやってきたことの結果につきましては、しっかりと10年間の総括として評価をしたところでございます。</p> <p>今後の自転車施策としましても、今回の評価を踏まえた上で何を押</p>

<p>深堀会長</p>	<p>さえるべきかを改めて検討していく必要があると考えております。</p> <p>今後の自転車施策を検討する際には、この評価の結果も参考にしながら取り組んでいく必要があると、そのように考えております。</p> <p>ご指摘につきましては、その柱をお持ちでいるという答えだと思えますので、課題を踏まえて次の施策を考えていくという回答だったと思います。</p> <p>他にいかかでしょうか。</p>
<p>三浦委員</p>	<p>前回の質問にもいろいろときめ細かく対応いただいて、資料をまとめていただきありがとうございます。とてもわかりやすくなったと思います。</p> <p>新たな自転車のまちづくり基本計画が策定されないこととなると、自転車部門の特出した基本計画はなくなるので、都市計画マスタープランに依拠することになると思われます。上尾が、自転車の街づくりを目指すという総合計画のビジョン自体はなくなっていないはずなので、それを街づくり部門で推進していくためには都市計画マスタープランに依拠することとなり、その中でまちづくりと紐づいた自転車施策はやらなくてはいけないこととして庁内でも抑えられていて、今日のご説明だったと理解します。</p> <p>ですが、少し不安なのは、基本計画があるのとないのとでは、庁内での予算の付き方や、その施策に対してどれぐらいエネルギーを注げるかというところで、温度差があるのではないかと想像するところで、自転車施策を推進する各部署が、そこまできちんと体系付けられないのではないかという気がします。</p> <p>2020年版の都市計画マスタープランにおいても自転車施策を重視するとあり、前回（2010年版）の都市計画マスタープランから</p>

	<p>今回の都市計画マスタープランについて、都市的な変化があり、自転車利用は移動手段としてより重視しなくてはならない、という分析の上で都市計画マスタープランに記載があるように見受けられます。移動手段としての自転車のまちづくりとなると、やはりレーンをきちんと繋いで、途切れのないネットワークにしていくことや、目標を想定設定してそこに繋いでいくというような、行政がやるべきインフラや基本的な環境整備の部分と、それを市民が共有して積極的に利用しようというマインドを作っていくとなると、やはり協働が必要だと思います。</p> <p>この協議会にも参加いただいているメーカーさんもいらっしゃるし、自転車を積極的に使っていくまち作りのムーブメントを作るとなると、行政が旗振るだけではなく、協働パートナーを市内に探し実施していくという、まちづくりの機運をきちんと作っていく、基本計画があるのとないのとは、そのあたりの迫力も違う気がします。ですので、もう一度最後の評価のところで都市計画マスタープランをきちんと引用し、上尾市は、自転車を生かしたまち作りを重視し、これからは継続推進していくと位置づけておいた方が良くと思いました。</p>
深堀会長	<p>都市計画マスタープランと関連付ける文言をとという発言もありましたが、事務局の考えをお願いします。</p>
大山主査	<p>都市計画マスタープランと自転車との関連も含めた今後の施策の方向性についてお話させていただきます。資料3の評価報告書30ページをご確認ください。現行の上尾市都市計画マスタープラン2020におきましては、自転車は公共交通を補完する身近な移動手段と位置づけております。現行の一つ前の都市計画マスタープラン2010では、自転車のまちづくりの推進が将来都市ビジョンに掲げられていた</p>

	<p>ところ、２０２０年版では、社会情勢等の変化も含めながら、自転車のみにフォーカスをしていくということではなく、大きな意味で、コンパクトなまちづくりに向けたネットワークと公共交通の軸を活用していく観点から、自転車を公共交通を補完する移動手段という位置付けとしております。しかしながら、自転車のまちづくりをやめていくということではなく、これからも自転車は公共交通を補完するための移動手段として適切に推進されるべきものと考えております。上尾市都市計画マスタープラン２０２０では、今後は誰もが安全で安心して自転車を利用できるように、その周辺環境整備に重点を置いた施策を展開していくと記載されております。</p> <p>その周辺環境整備に重点を置いた自転車施策につきましては、都市計画マスタープラン上明確にはなっておりませんので、今回の計画評価を行う中で、新しい計画に移行するものではありませんが、３１ページ以降に施策の方向性としてその考え方を記載しております。</p> <p>このように、評価報告書としましては、今後の自転車施策の方向性を示す中で、都市計画マスタープランの位置付けを引用しており、今回の評価との関係性も確認できますので、報告書中の記載はこのようにさせていただきたいと考えております。</p>
深堀会長	<p>今のご意見をどのようにするかは、事務局と相談し、検討させていただければと思います。</p> <p>もう少し時間をいただきまして、自転車に関わるお２人を含めた３名の方からのご意見をお伺いするということによろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ご発言をお願いします。</p>
長澤委員	<p>報告書２３ページの目標・ビジョンの評価について、路上駐輪場の社会実験が実施され、今後検討が進められていくという内容の報告書</p>

	<p>になっています。一方、10ページでは、『路上駐輪場を実施した結果として、本社会実験の結果などを踏まえ、商業施設管理者、事業者と協議を重ね、商業施設敷地内において、自転車駐輪スペースの増設や自転車利用者の誘導を強化する』旨の記載があり、歩道のところを今後も駐輪スペースにする訳ではなく、商業者にお願いしようという方向が示されています。ですので、両ページに矛盾が生じていることに気が付きました。</p>
大山主査	<p>資料3の評価報告書23ページに記載の路上駐輪場設置の社会実験について、誤解を招く表現があったかもしれませんが、こちらはこれまで施策として実施してきております、路上駐輪場設置の社会実験や公共交通との連携について、課題等も確認しながらさらなる実施方策について検討していくという取りまとめをしておりますので、記載中に矛盾はないと考えております。</p>
長澤委員	<p>社会実験について、実施エリアについては改善し、未実施エリアについては乱雑になったということでしょうか。</p>
大山主査	<p>社会実験の結果については、無秩序に自転車が歩道内に置かれている状況が改善され、視覚障害者の誘導用ブロックがふさがれる事態が解消されるといった効果はありましたが、逆に商業施設利用者ではなく駅利用者がそこに停めてしまい、違法駐輪ではなくて、放置自転車化してしまうという事態が増加するという課題があったということです。</p>
長澤委員	<p>はい、分かりました。</p>

深堀会長	<p>先ほどお答えされていた、検討されるという発言はどこに書かれていますか。</p> <p>10ページでは、社会実験の結果として、『改善し、課題もあり、協議を重ね、商業施設敷地内において自転車駐輪スペース増設や自転車誘導を強化することとした。』旨の記載があり、こちらが今後の課題になっているという意味でしょうか。</p>
大山主査	<p>社会実験につきましては、一旦この取り組みとして、このような課題があったということで評価を取りまとめているものです。一方で23ページの目標・ビジョンの評価において、検討が進められていると記載している部分につきましては、この社会実験のみならず、サイクル&バスライドといった公共交通との連携を見据え、公共空間を活用した駐輪自転車の駐輪方策については、現時点でも検討しておりまして、この部分にかかる記載となっております。</p>
深堀会長	<p>23ページはそちらで良いと思います。10ページについては、結果のところにもう少し良い説明があっても良いかなと思います。</p>
中釜課長	<p>10ページに関してですが、実際商業施設の方と協議を行い、植栽や空地部分を新たに自転車駐輪場として整備していただいております。北上尾駅を利用する自転車が増えてしまったというのは、社会実験を行ったことで、舗道にも停めて良いと勘違いをされて、北上尾駅利用者が停めていくようになってしまったということです。</p>
深堀会長	<p>分かりました。協議を重ねて自転車駐輪スペースの増設を実現したということですね。</p> <p>今のお答えでよろしいでしょうか。</p>

長澤委員	<p>少し私の感覚と異なるのですが、無償で置かせていたということでしょうか。法律を解釈していけば、道路を駐輪場として使うことも何ら差し支えなく、有料のところもあると思いますが、やはりお金を取らなくては駄目だと思います。</p>
深堀会長	<p>事業の是非よりも、この評価として記載されていることの理解が間違いないければ、評価書としては良いと思いますので、今のような議論をする場ではないのかなと感じますが、よろしいでしょうか。</p>
市村委員	<p>一つよろしいですか。</p> <p>地元の話で私が区長をやっていた１０年ぐらい前の話だったと思います。この写真の通り非常に綺麗になったという話は当時ありました。しかし、ここの書き方として良くないのは、元々ここは北上尾駅を利用する人たちが乱雑に置いていたところであったということです。社会実験後に北上尾駅利用者の放置自転車が増えたのではありません。表現が食い違っていると感じます。この表現だと、結果失敗に終わったような印象を受けてしまいます。</p>
深堀会長	<p>今のようなご発言の趣旨を踏まえて、若干ここの表現を見直すことは可能でしょうか。</p>
大山主査	<p>路上駐輪場の社会実験につきましては、こちらは歩道でありますので、その本来の道路機能の確保といった観点から、公共空間を活用することが考えられるかといった検証をしたところでございます。記載の修正につきましては、事務局の方で一度持ち帰り検討させていただきます。</p>

<p>深堀会長</p>	<p>そのようにご対応いただければと思います。</p> <p>田村委員さん、山本委員さんからご感想、ご意見いただければと思います。田村委員さん、いかがでしょうか。</p>
<p>田村委員</p>	<p>私自身も社会実験の一端を担った者ですが、当時と今とでは少し状況が違ってきています。当時は北上尾駅ができて間もなく、自転車置き場がないため、通勤者が置いていました。</p> <p>社会実験後ある程度整備されましたが、一般の人たちは買い物に近いところへ自転車を置きたいのです。しかし、買い物に遠いところに自転車置き場は多いです。自転車環境はどこに置いたら一番いいかを考えるべきだと思います。</p> <p>それから、道路の整備状況についてですが、自転車を置くのに段差があって置きにくいという問題が実はあります。そうすると高齢者の場合には、自転車を持ち上げることはできないです。そうすると平らな通路へ置き、1人置くと並べて置くようになってしまうという問題があります。</p> <p>私は、埼玉県の自転車安全指導員を知事から委嘱されてやっていますが、小学校の講習は非常に中身の薄い講習になってしまっているため、実際に利用する際に危険な場面が出てしまいます。</p> <p>上尾警察と共同し小学校で講習を実施したこともあります。大体40分間ぐらい、私達が独自の交差点を作って、自転車のルールや乗り方を教えました。</p> <p>しかし、私から見ると自転車のマナーのレベルは非常に低いです。もっと良くするためには、きめ細かな小学校・中学校での交通ルールの啓蒙活動をやった方がいいと思います。もう一つは、警察と上尾市の横の連携がよくなかったということです。</p> <p>評価をもっと上げるためには、警察とか交通安全母の会だけではな</p>

	<p>く、一般市民を巻き込んだ啓蒙活動をしていかないと、全体の交通ルールを学ぶ場がありません。交通ルール、あるいは事故を減らすためには、もっともっと現場に立ってやっていかないといけないと思います。</p> <p>年に4回、上尾駅前で交通安全週間の活動をしています、チラシ配るだけです。昔は警察官と一緒に交差点に立って指導をしていましたが、今はほとんどやっていないです。そのため、どんどんマナーが悪くなっているというのが私の実感です。もう少し細かく実施していくと、自転車のまち上尾が定着し、自転車環境も良くなるのではないかと感じます。</p> <p>市民と実際に啓発活動されていて、報告書の中でも、ぐるサイクラブさんの貢献されたことがたくさん書かれていて、そのご経験から警察と団体さんと市民と連携し、実践の中で分かる課題というものを、今教えていただいたのかなと思います。それをどのように生かしていくのかということは、大きな課題であろうと思います。</p> <p>ぜひ、またいろんなことでご活躍いただけるようにできると良いと思っていますので、その際はよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、山本委員さんにも民間の企業さんとしてこれまで何か市と連携した取り組みですとか、その可能性といった視点で何かご発言を、あるいは評価書のご感想でも結構ですので、何かご発言いただけますでしょうか。</p> <p>評価書のところですが、4・5ページにヘルメットの無い自転車のイラストがあって、資料1のアップー君のイラストにはヘルメットがあり、違和感があるのでイラストを足してもらえるとありがたいです。自転車メーカーの委員が入っていて、ヘルメットがないイラストはい</p>
深堀会長	
山本委員	

--

3

ありがとうございます。連携する上でノウハウやアイデアはいくつもある気がしますので、基本計画は終わりになりますが、今後も課題の中で漏れていることについて、各部署と連携する中で、ソースがきちんと地域にあるということを生かせるように、ぜひご検討いただければと思います。

1

1

そのように進めていきたいと考えています。

深堀会長	<p>それでは、そういう形で今後対応するということでよろしくお願いいたします。傍聴者の方も途中で退席されたみたいですね。以上をもちまして、今日の議事を終了させていただきます。これで議長の任を解かせていただきます。</p>
3 事務連絡	
甲谷副主幹	<p>深堀会長ありがとうございました。続きまして次第 3 の事務連絡について、事務局からお伝えいたします。</p>
中釜課長	<p>次回の会議開催についてですが、年を明けて 2 月頃を予定しております。詳細につきましては、決まり次第改めてご連絡差し上げますので、皆様今後ともよろしくお願いいたします。</p>
甲谷副主幹	<p>それでは林副会長より閉会のご挨拶を賜りたいと存じます。林副会長よろしくお願いいたします。</p>
	<p>《 林副会長 閉会挨拶 》</p>
4 閉会	
甲谷副主幹	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、第 3 4 回上尾市街づくり推進会議を終了いたします。皆様、大変お疲れ様でした。</p>

署名委員 三浦匡史

署名委員 中嶋美名子